

令和3年度（令和2年度事業）
教育委員会に関する事務の
点検・評価報告書

令和3年8月
周防大島町教育委員会

目 次

◆ はじめに	1
◆ 学校教育	2
1 確かな学力の定着	3
2 豊かな心と健やかな体の育成	5
3 家庭・地域と一体となった学校づくりの推進	7
◆ 社会教育	9
1 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進	10
2 地域教育力活性化の推進	17
3 人権教育の推進	20
4 スポーツの振興	23
◆ 総務	27
1 中学校の再編に向けた対応	28
2 油田小学校と森野小学校の統合に向けた対応	29
3 学校施設等の整備・拡充	29
4 周防大島町語学留学生派遣事業	30
5 新型コロナウイルス感染症への対応	30

【はじめに】

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成 20 年 4 月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政を推進し、住民への説明責任を果たすことが求められており、その結果に関する報告書を作成し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、議会に提出するとともに、公表することとなっております。

そこで、今年度の報告書を公表します。

2 点検・評価の対象・期間

点検評価の対象は、令和 2 年度の周防大島町の基本方針(学校教育・社会教育)に基づく施策と学校環境整備の主な事業を対象としました。

点検評価の対象期間は、令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までの事業です。

3 点検・評価の方法

点検・評価対象とした重点施策は昨年と同様としており、次のとおり 5 段階の総合評価(自己評価)を設定しました。

- ① 計画どおり
- ② 概ね計画どおり
- ③ 具体的改善策が必要
- ④ 全般にわたり要検討
- ⑤ 新型コロナウイルスの影響により評価できない

4 まとめ

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価については、例年どおりとしております。

評価の手法等について、今後更に効果的な教育行政を推進し、町民への教育行政評価の客観性・透明性を図り、的確な評価に向け取り組みを改善してまいります。

学 校 教 育

【学校教育課】

学校教育は、人格の完成をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者の育成を目的としている。この目的達成のためには、基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、学ぶ意欲や向上心等を高めるとともに、感謝の心や思いやり、困難に負けないたくましい心身の育成など、「生きる力の育成」が必要である。

そのために、各学校においては、次の3点を大切にして学校教育を充実していく。

- 1 子どもにかかわる教職員の資質や指導力の向上を図る。
- 2 保護者や地域とのつながりを大切にし、特色のある教育活動を展開する。
- 3 よさや課題を明確にし、長期的な視点からよりよい学校づくりをめざす。

1 確かな学力の定着

- 子どもにとって魅力ある授業や子どもの実態に応じた指導のあり方を追究するとともに、ICT機器を効果的に活用し、子どもが主体的に学び、思考を深めることができる学習展開を図る。
- 小・中学校でつながりのある英語教育の取組を展開し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。
- 地域の特性等を踏まえて、KS学習（拡大集合学習）や小中連携教育、中高一貫教育等の教育活動の一層の工夫を図る。
- 特別支援教育充実のために、校内コーディネーターを中心とした校内体制を構築するとともに、支援員の配置等により個に応じた指導の充実を図る。
- 小学校5・6年生対象の漢字・算数検定、中学生対象の英語・漢字・数学検定を助成し、自ら目標をもって学習に取り組もうとする意欲を高める。

<p>◆ICT機器を効果的に活用した子どもが主体的に学ぶ魅力ある授業実践の推進</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実現にむけiPadの導入を完了した。ICT支援員を活用し、各校のiPadを活用した授業の充実に向け取り組むことができた。 ・ICT機器活用に係るセミナーを開催し、授業研究を通して協議を深めている。（3回開催） <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修機会の充実に取り組み、教員の指導力向上をめざし、本町教育の特色の一つである、ICT教育を積極的に推進すること。 ・プログラミング学習の研修も進めていく必要がある。
<p>◆英語コミュニケーション能力の高い児童生徒の育成</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル教育推進事業（沖浦小、三蒲小、久賀小、森野小、明新小）小学校低学年から会話を中心とした外国語教育に取り組み、児童の英語への関心が高まっている。 ・小学生イングリッシュ・デイ・キャンプ 2月27日、大島文化センターで実施した。小学校6年生8名の参加があった。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため実施回数や規模を縮小したこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル教育推進事業や英語講師派遣事業により、小学校低学年からの取組を充実すること。 ・開催時期や募集時期等を工夫し、小学生イングリッシュ・デイ・キャンプへの参加者の増加を図ること。
<p>◆KS学習（拡大集合学習）や小中連携教育、中高一貫教育等の教育活動の工夫。</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KS学習（拡大集合学習）においては、児童がより大きな集団の中で学習し考えを深めることができることをねらい、教員同士が連携や授業力の向上を図っている。 ・小中連携教育においては、授業研究を合同で行うなどして、授業改善に向け、効果的な取組が行われた。 ・中高一貫教育の取組においては、生徒が校種の異なる教員から学ぶことを通して、高校での学習を見通した授業を体験する貴重な機会となっている。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小小間や中高一貫の取組の成果を上げるために、児童生徒の実態把握や授業についての情報交換を進めること。 ・連携の充実に向けICT機器の効果的な活用について研修や研究を進めること。
<p>◆特別支援教育充実のための、校内体制の構築と、支援員の配置等による個に応じた指導の充実。</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内コーディネーターを中心に各校の研修が進み、児童生徒の特性を理解し、教員のみならず支援員も含めて適切な支援をすることの大切さについては、各校の認識も深まっている。また、専門的な立場からの指導を受けることについての意識も高くなってきた。 ・通常学級に在籍する発達障害等、個別の支援が必要な児童生徒や、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や日常生活を支援するために、13校に30人の支援員を配置した。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を巻き込んだ支援体制の充実を図ること。
<p>◆検定助成による児童生徒の主体的に学習に取り組む意欲の向上</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定助成 <ul style="list-style-type: none"> 小学校5・6年対象 漢字・算数検定 中学生対象 英語・漢字・数学検定 ・令和2年度中の検定受検率（検定受検率の向上） <ul style="list-style-type: none"> 小学校 漢字97%、算数88% 中学校 漢字65%、数学52%、英語82% ・合格率 <ul style="list-style-type: none"> 漢字 8級100%、7級76%、6級75%、5級72%、4級34%、3級47%、準2級50%、2級0% 数学 8級50%、7級76%、6級56%、5級50%、4級50%、3級61% 英語 5級80%、4級62%、3級41%、準2級17%、

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校で事前・事後の指導の充実を図り、児童生徒が目的を明確にして取り組めるようにすること。 ・各級の合格率について、さらに高めていくこと。
--	--

2 豊かな心と健やかな体の育成

- いじめや不登校、問題行動等を未然に防止するために、開発的・予防的な生徒指導や相談体制の充実に取り組むとともに、状況に応じて関係機関や関係校とも積極的に連携し、早期解決を図る。
- 子ども一人ひとりの人権尊重意識を高め、互いの人権を尊重し合う態度を育む。
- 発達段階に応じた道徳教育の充実と道徳科の授業づくりに努め、基本的な倫理観や社会性、規範意識などを育む。
- 子どもの健康の状況等を把握し、食育等の健康教育について意図的・計画的な取組を行う。
- 子どもの体力の状況等を把握し、体育の授業を充実し、主体的に運動に取り組む楽しさを味わわせる。

<p>◆いじめや不登校を未然に防ぐための、開発的・予防的な生徒指導や相談体制の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回の「生活（いじめ）アンケート」等を行うことによりいじめの早期発見や不登校の未然防止につとめた。 ・「あろは教室」（適応指導教室）に登校した児童の対応に苦慮したが、適切な指導により登校意欲の向上が見られた。（指導員を1名増員した。） ・保小、小中連携のもと、校種間の情報交換が行われている。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に配慮が必要な児童生徒の理解と指導方法の工夫など、深い児童生徒理解に基づいた取組を全小中学校で進めること。
<p>◆人権教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づき、年間計画の見直しを図り、学校や地域の実情や児童生徒の実態を踏まえた取組が進められた。 ・新型コロナウイルス感染症に係る人権への配慮についての指導にも取組ことができた。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の尊重を基本として、学校が、児童生徒にとって安心して、楽しく学ぶことのできる環境となるよう体系的・計画的に人権教育についての研修を進めていくこと。

<p>◆基本的な倫理観や社会性、規範意識などを育む、道徳教育の充実と道徳の授業づくり。</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な道徳科の授業実践により、児童生徒の道徳的実践力の育成が推進されている。 <p>※「学校の決まりを守っている」と答えた割合（小6、中3対象調査）</p> <table border="1" data-bbox="647 360 1195 517"> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>中学校</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>94.8</td> <td>92.4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>94.3</td> <td>97.6</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td colspan="2">全国学力学習状況テスト 中止</td> </tr> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の取組をさらに充実させるために、評価やカリキュラム等の研究を進めていくこと。 ・社会性や規範意識等の醸成を図るため、学校地域連携カリキュラムを活用するなどして家庭や地域とのかかわりを強め、道徳教育の一層の充実に取り組むこと。 		小学校	中学校	H30	94.8	92.4	R1	94.3	97.6	R2	全国学力学習状況テスト 中止														
	小学校	中学校																								
H30	94.8	92.4																								
R1	94.3	97.6																								
R2	全国学力学習状況テスト 中止																									
<p>◆児童生徒の健康状態等の把握と健康教育についての意図的・計画的な取組</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内児童生徒の健康面に関する情報をまとめた「周防大島町児童生徒健康・体力誌」を作成し、傾向と課題を分析し、具体的な取組を展開している。 ・感染症対策のため体力テストは実施できなかったが、全小中学校で「体力向上プラン」を作成して1校1取組（重点的取組）をすすめ、持久力や調整力等を高めることができた。 <p>※体力合計点全国平均との比較</p> <table border="1" data-bbox="633 1140 1324 1355"> <tr> <td></td> <td colspan="2">小5</td> <td colspan="2">中2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>男子</td> <td>女子</td> <td>男子</td> <td>女子</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>+2.7</td> <td>+3.5</td> <td>±0</td> <td>+5.6</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-2.1</td> <td>-0.5</td> <td>-0.7</td> <td>-0.1</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td colspan="4">感染症対策のため体力テスト中止</td> </tr> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会や福祉部局と連携し、生活習慣病の予防や健康な身体づくり、体力向上に取り組むこと。 ・学年によって、体力の差が大きいため、継続的な取組が必要である。 		小5		中2			男子	女子	男子	女子	H30	+2.7	+3.5	±0	+5.6	R1	-2.1	-0.5	-0.7	-0.1	R2	感染症対策のため体力テスト中止			
	小5		中2																							
	男子	女子	男子	女子																						
H30	+2.7	+3.5	±0	+5.6																						
R1	-2.1	-0.5	-0.7	-0.1																						
R2	感染症対策のため体力テスト中止																									
<p>◆体育授業の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習カード」「がんばりカード」等の工夫により、子どもたちが目標を持って体育授業や体力づくりに取り組んでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が進んで運動できる仕組みや環境づくりに努めること。 																									

3 家庭・地域と一体となった学校づくりの推進

- コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みを生かした地域連携教育に取り組み、子どもの豊かな交流・体験活動における価値付けを図り、ふるさとに誇りがもてる子どもを育てる。
- 学校と家庭・地域が連携してキャリア教育の取組を一層充実させ、発達の段階に応じて、夢や目標を大切に生きていこうとする子どもを育てる。
- 読書から得られるものを大切にして、学校と家庭が連携して読書の機会を促し、主体的に読書に親しみ学んでいこうとする心を育てる。
- 学校内外の安全や交通安全、自然災害等への対応に向けて、地域と連携した取組や校内体制の整備を推進し、学校の危機対応能力の強化を図る。
- 学校にかかわる多くの地域人材の力を学校経営に生かし、子どもの豊かな学びや育ちを保障する学校をめざす。

<p>◆ふるさとに誇りがもてる子どもの育成に向けた地域連携教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校での取組を中学校区で共有し、9年間を見通した取組を展開している。 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ふるさとの伝統や文化の特色を生かした体験活動に取り組みながら、児童生徒の豊かな心情の醸成を図っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の実践をよりよいものにするために、「学校・地域連携カリキュラム」の見直しを行うこと。 ・学校で取組の成果や課題についての協議を行い、児童生徒の実態や発達段階に応じた効果的な取組を継続すること。 (大島地区3小学校の民泊体験は中止。)
<p>◆学校と家庭・地域が連携したキャリア教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内小学校4年生が、将来の夢や目標を発表する「2分の1成人式」をオンラインで行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、できる範囲ではあるが主体的な取組が見られる。 ・小学校では、学習支援ボランティアや見守りボランティアの人たちとの日常的な交流など、工夫した取組が見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の育ちの観点から、取組の成果を検証し、一層の充実を図ること。
<p>◆主体的に読書に親しみ学んでいこうとする心の育成。</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を積極的に推進するために、図書紹介コーナーの設置や読書カードの活用、読書通帳等、各小中学校で工夫した取組を行っている。 ・地域の読み聞かせの会や読書活動推進員の配置(8名)等により、朝の読書活動や家庭での読書等、読書習慣が身に付いてきている。

	<p>※「30分以上読書する」と答えた割合（小6、中3対象調査）</p> <table border="1" data-bbox="708 237 1256 398"> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>中学校</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>35.1</td> <td>34.2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>37.3</td> <td>27.6</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td colspan="2">調査中止</td> </tr> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の興味や関心にそった読書支援を行うために、読書支援員等による図書室整備を行うこと。 		小学校	中学校	H30	35.1	34.2	R1	37.3	27.6	R2	調査中止	
	小学校	中学校											
H30	35.1	34.2											
R1	37.3	27.6											
R2	調査中止												
<p>◆地域と連携した防災教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災だけでなく、地震・津波等の自然災害を想定した研修や訓練を重ねて、危機管理マニュアルの見直しを図っている。 ・学校単独ではなく、保小、小中合同や地域と連携した避難訓練を実施するなど工夫が見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への指導や訓練等を通して、教職員、児童生徒一人ひとりが常に危機意識を持って取り組むこと。 												
<p>◆「地域人材の力」を生かした学校経営</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を工夫しながら、地域の人材等を活用して、地域の特色を生かした体験活動や行事等を教育課程に位置付けて取り組んでいる。 ・各学校とも、学校便り（校長便り）等を通して、学校の取組や様子について情報提供をしている。教育委員会では、東和総合センター大ホール入口に掲示板を設け、小中学校並びに周防大島高校の学校便り、田布施総合支援学校のコミスクだよりを掲示し情報発信に努めている。 ・コミュニティ・スクールとしての取組の充実を図り、地域や保護者の声を学校経営に生かそうとしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の課題を解決するために、学校・地域連携カリキュラムを効果的に活用すること。 												

社 会 教 育

【社会教育課】

国際化、情報化や科学技術の進展にともなう価値観の多様化、また、過疎化や家族形態の変容、少子高齢化などの社会状況の変化の波は本町にも押し寄せている。近年は、町民個々の学習ニーズも多岐にわたり、また、わが町が長年培ってきた家族や地域ぐるみの「共同体に支えられた教育基盤」も変容しつつある。

そこで、本町では、人権尊重の理念を基礎として、新たな時代に対応できる町民の育成と、高齢化社会における健康と生きがいづくりに向け、「だれでも、いつでも、どこでも」学び、ふれあい、楽しめる社会教育の実現を目指す。

加えて、私たちの心の豊かさの源であり、郷土への誇りとなる特色ある文化遺産の継承と地域文化の創造に努め、本町教育の基本方針である「自立・協働・創造～ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり」の具現化を図った。

1 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進

- 多様なニーズにあった生涯学習情報や学習機会の提供・学習内容の充実
- 社会教育施設の環境整備と利用の提供
- 郷土の歴史・芸能・文化の保存・継承と文化活動の推進
- 読書活動の奨励

<p>◆公民館における学習講座の開催</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の生涯学習講座は、3講座を実施した。 <p>なお、橘地区は、シニアクラブ連合会主催で、ことぶき大学という高齢者講座が開かれている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>生涯学習講座</th> <th>開催施設</th> <th>対 象</th> <th>開催回数</th> <th>延受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はつらつ講座</td> <td>大島公民館</td> <td>町 民</td> <td>3 回</td> <td>201 人</td> </tr> <tr> <td>悠遊教室</td> <td>久賀公民館</td> <td>町 民</td> <td>5 回</td> <td>70 人</td> </tr> <tr> <td>かがやき塾</td> <td>東和総合センター</td> <td>町 民</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>おれんじ倶楽部</td> <td>橘公民館</td> <td>町 民</td> <td>3 回</td> <td>46 人</td> </tr> </tbody> </table>	生涯学習講座	開催施設	対 象	開催回数	延受講者数	はつらつ講座	大島公民館	町 民	3 回	201 人	悠遊教室	久賀公民館	町 民	5 回	70 人	かがやき塾	東和総合センター	町 民	中止	—	おれんじ倶楽部	橘公民館	町 民	3 回	46 人
生涯学習講座	開催施設	対 象	開催回数	延受講者数																						
はつらつ講座	大島公民館	町 民	3 回	201 人																						
悠遊教室	久賀公民館	町 民	5 回	70 人																						
かがやき塾	東和総合センター	町 民	中止	—																						
おれんじ倶楽部	橘公民館	町 民	3 回	46 人																						
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座 <p>高齢化の進展した本町にとって、高齢者に対する学習機会の提供を続けることは大切だが、青壮年層からの参加も考慮した講座づくりも必要となっている。</p> <p>学習者のニーズや今日的課題を盛り込んだ学習内容を進めて行くと共に、各地区で開催されている講座を受講者が気軽に受講できるよう、施設間の情報連携を図ること。</p>																									

<p>◆町民の自主的活 動の支援</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や教養を高めたり健康づくり等の学習をする 110 の自主学習グループが、公民館等を利用し活動した。これらのグループの活動に対し、活動状況を取りまとめた紹介チラシを作成し、全戸配布により活動の紹介と参加募集を支援した。また、公民館等の使用料(冷暖房費を除く)を免除して、運営を支援した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習方法や内容に対する相談体制の整備、適切な学習情報の提供、学習成果を生かせる場やグループ相互の交流の場を提供しているが、より多くの住民に自ら学ぼうとする意欲を高めていただくこと。 																					
<p>◆学習情報の発信</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の生涯学習講座は、年度初めに講座内容を紹介したチラシの全戸配布をはじめ、町広報、ホームページへ掲載し募集した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する情報提供誌の発行等の方法を検討し、生涯学習の普及・啓発に取り組むこと。 																					
<p>◆学習成果の発表 機会の提供</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により 評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者の日頃の学習成果の発表の機会として、コロナ禍ではあるが、作品展示を中心にコロナ対策をしつつ各地域で、文化祭、展示会、生涯学習発表大会等を開催した。 <table border="1" data-bbox="496 1234 1482 1709"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>会場</th> <th>開催月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸能文化の集い (歌と踊りの集い)</td> <td>大島文化センター</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 作品展示</td> <td>大島文化センター</td> <td>3/3～3/10</td> </tr> <tr> <td>文化作品展</td> <td>久賀総合センター</td> <td>10/29～12/8</td> </tr> <tr> <td>第31回橘生涯学習発表大会 (第62回文化芸能の部)</td> <td>橘総合センター</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>第31回橘生涯学習発表大会 (第62回作品展示の部)</td> <td>橘総合センター</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>第31回ふれあいコンサート in くか</td> <td>久賀総合センター</td> <td>11/7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の発表の場として各地域に根付いたイベントとなっている。今後も学習者が主体的に運営に関わる運営方法を検討するとともに、生涯学習の活動の意義を地域に発信していきたい。 	事業名	会場	開催月日	芸能文化の集い (歌と踊りの集い)	大島文化センター	中止	大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 作品展示	大島文化センター	3/3～3/10	文化作品展	久賀総合センター	10/29～12/8	第31回橘生涯学習発表大会 (第62回文化芸能の部)	橘総合センター	中止	第31回橘生涯学習発表大会 (第62回作品展示の部)	橘総合センター	中止	第31回ふれあいコンサート in くか	久賀総合センター	11/7
事業名	会場	開催月日																				
芸能文化の集い (歌と踊りの集い)	大島文化センター	中止																				
大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 作品展示	大島文化センター	3/3～3/10																				
文化作品展	久賀総合センター	10/29～12/8																				
第31回橘生涯学習発表大会 (第62回文化芸能の部)	橘総合センター	中止																				
第31回橘生涯学習発表大会 (第62回作品展示の部)	橘総合センター	中止																				
第31回ふれあいコンサート in くか	久賀総合センター	11/7																				

◆社会教育施設の活用

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

・平成 27 年度に設立した社会教育施設連携協議会は、引き続き町内の社会教育施設（宮本常一記念館、八幡生涯学習のむら、日本ハワイ移民資料館、周防大島町総合体育館・陸上競技場）の施設間相互の情報交換や情報発信、所蔵資料の保存や公開へのあり方を検討する場として事業を行った。活動内容としては、会報誌「あそぶ・まなぶ・語る」の発行を行った。

【宮本常一記念館】

・島の歴史や文化、自然環境の変遷を学ぶ宮本常一記念館では、生業・生活文化に関わる展示のほか、令和 2 年度は宮本常一没後 40 年企画として企画展示「宮本常一と読書」(R3. 1/28～3/23) や特別展示「周防大島とハワイ～移民たちの足跡」(R3. 3/15～5/9) を行った。

・宮本常一没後 40 年事業として『宮本常一ふるさと選書 1 古老の人生を聞く』を刊行した。また、本年度も前年度に引き続き『宮本常一農漁村探訪録 23 下北半島調査ノート (2)』を刊行した。

・その他、動画配信「宮本常一チャンネル」の開設や、写真資料等の貸出、講演会等への講師派遣などを行った。また、大学等の研究者による資料調査についても対応をした。

※新型コロナウイルス感染症対策として講演会等は未実施。

【日本ハワイ移民資料館】

・日本ハワイ移民資料館は、日本とハワイ移民の歴史を基に、その資料を収集保存し、活用を図る施設として設置しており、移民に関する歴史的、文化的資料の展示等を行っている。

・大島国際交流協会（代表：川野憲生）と平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 5 年間の指定管理契約を交わしている。

・周防大島町国際交流推進員の西田純子氏の協力により、山口大学による「山口学研究プロジェクト」に係る調査、資料整理、各種英訳業務、民泊向けハワイ講座のための資料整理、動画撮影、オンラインでの資料館と数名のハワイ関係者をつないだ P R 事業等を実施した。

【八幡生涯学習のむら】

・八幡生涯学習のむらは、拠点施設の町衆文化伝承の館、宮本常一の指導の下に収集された民俗資料を展示・保存している久賀歴史民俗資料館や諸職用具収蔵庫、陶芸の館等が設置されている町衆文化の薫る郷公園によって構成されており、各施設は生涯学習や交流の場としての役割を果たしている。

・島の生活文化研究会（代表：菊本雅喜）と平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 5 年間の指定管理契約を交わしている。

・自主事業（海と暮らすⅡ - 浜本栄が視た周防大島町橘地区の昭和-）など 5 事業及び生涯学習講座（陶芸教室）などの 7 講座を実施した。

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資料の収集にも努めてきたが、今後はそれらの資料の整備と活用を通して、他の施設と連携した、より幅広い地域活動に取り組むこと。 ・各種社会教育施設においても施設の設置目的に応じ、施設の紹介方法や事業内容を工夫し施設利用者の増加を図るとともに、施設で活動するグループや地域の人材を育成し、公民館と同様に地域の中で生涯学習を推進する重要な役割を担う施設を目指していく。 <p>また、27年度に発足した社会教育施設連携協議会を中心に教育施設間の協力、学校や地域の諸団体との連携を密にしていくこと。</p>
<p>◆文化財の保護、保存、整備</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県指定重要文化財及び町指定文化財の巡視や点検等を実施した。 国指定文化財の巡視（毎月） 国指定天然記念物（安下庄のシナナシ） 国指定重要有形民俗文化財（久賀の石風呂） 西長寺木造阿弥陀如来坐像の防火設備点検 ・埋蔵文化財の保護 町内には62の埋蔵文化財包蔵地が点在しており、文化財保護法により、包蔵地内の建設工事等を実施する場合、事前の手続きが必要となる。今年度、土木工事等について、計画地が包蔵地内に位置しているかの照会が複数あり、調査した。 ・服部屋敷の活用 町内外の有志が中心となり、建築技術の文化的価値を学ぶ講座や、機織りの技術伝承に関する取組を行っており、利用率が大幅に上がっている。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も劣化の進行した国指定重要有形民俗文化財の保存修理（定期的な燻蒸等）が必要である。 ・各地区民俗資料館の施設の老朽化に伴い、資料の保存、展示方法等について、今後の資料館の効果的で特色ある運営のあり方について、移転や集約を含めて検討していくこと。 ・町内の貴重な文化財を広く町民に普及・啓発し、文化財保護への関心と理解を深め、ふるさとの伝統文化を大切にする心の醸成を図ること。

<p>◆文化団体等の育成支援</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>(周防大島町文化振興会)</p> <p>・各種文化事業を推進することにより、町民の文化に対する意識高め、もって心豊かな地域づくりに寄与するため、講演会等の開催や他団体が実施する事業への助成・支援を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>・郡内校歌保存事業</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・小冊子 文化財をたずねて「八田八幡宮」の作製</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・屋代ダム30周年記念講演会及びパネル展示</td> <td>8/28</td> </tr> <tr> <td>・踊りつなごう！ふるさとの盆踊り</td> <td>7/21</td> </tr> <tr> <td>・講演会「外からみた周防大島」</td> <td>11/10</td> </tr> <tr> <td>・おはなしとうたの演奏会 こころのセンチク ～虹色涙のおかげさま～</td> <td>1/10</td> </tr> </table> <p>(周防大島町文化振興事業補助金)</p> <p>・地域の文化団体の活動を支援するための補助金制度。1団体あたり20万円を上限とする。令和2年度は、5団体の応募があり以下の5団体を採択した。</p> <p>小松地区街並み思い出保存会 (小松地区「街並みの記録」及び「年中行事等の思い出エピソード」等の記録事業 30,000円【取り下げ】)</p> <p>周防大島町関係者著作目録編纂会 (周防大島町ゆかりの人物による著作目録冊子の刊行 200,000円)</p> <p>大島陶芸教室 つくし窯 (みんなで楽しむ陶芸づくり 20,000円)</p> <p>周防大島地人協会 (ハワイから贈られたピアノを聞くコンサートとシンポジウム 200,000円【中止】)</p> <p>周防大島染織歴史研究会 (周防大島織物文化の歴史と再生 一庶民の普段着の変遷と復刻ー 200,000円)</p>	・郡内校歌保存事業	通年	・小冊子 文化財をたずねて「八田八幡宮」の作製	通年	・屋代ダム30周年記念講演会及びパネル展示	8/28	・踊りつなごう！ふるさとの盆踊り	7/21	・講演会「外からみた周防大島」	11/10	・おはなしとうたの演奏会 こころのセンチク ～虹色涙のおかげさま～	1/10
	・郡内校歌保存事業	通年											
・小冊子 文化財をたずねて「八田八幡宮」の作製	通年												
・屋代ダム30周年記念講演会及びパネル展示	8/28												
・踊りつなごう！ふるさとの盆踊り	7/21												
・講演会「外からみた周防大島」	11/10												
・おはなしとうたの演奏会 こころのセンチク ～虹色涙のおかげさま～	1/10												
<p>【課題】</p> <p>・町内には、まだ本事業を知らない文化・芸術団体もあると思われるので、本補助金の周知徹底に努めていきたい。</p>													

◆町内図書館のネットワーク化の推進とサービスの向上

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

- ・貸出、返却業務や資料検索の効率化を図るため、資料管理をOA化し、町内図書館の情報の共有化を図るとともに、相互貸出しや相互返却を実施した。
- ・自宅のパソコンや町外図書館等で、インターネットを利用した図書の検索や予約等のできる図書館情報総合システムの活用推進に努めた。

図書館情報総合システムの利用状況	
アクセス	3,813,487件
予約冊数	7,855冊

- ・来館が困難な地区や保育所（園）、小学校への移動図書館の巡回や、地域文庫への図書の貸出を行い、利便性の向上に努めた。

図書館名	貸出方法	実施回数	冊数
久賀図書館	文庫配達	10回	4,270冊
大島図書館	出張所文庫	2回	940冊
	巡回図書	1回	22冊
東和図書館	地域文庫8か所	2回	1,200冊
橘図書館	巡回図書	80回	3,300冊

【課題】

- ・情報内容の充実を図り、システムの利用促進を図る必要がある。
- ・町民が気軽に訪れることができる図書館をめざし、町民からの要望に応じて、不明な事柄について共に調べたり、学習方法、学習情報の相談に応じたりするレファレンスサービスの周知に取り組むこと。

◆町民のニーズに対応した情報収集、資料の整備

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

- ・蔵書資料は、前年度に比べ図書は581冊減少し、203,355冊となった。
- ・AV資料は、72点減少し、2,072点となった。

	<p>蔵書資料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>一般図書</th> <th>児童図書</th> <th>郷土資料</th> <th>AV資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>37,463冊</td> <td>20,797冊</td> <td>3,422冊</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大島図書館</td> <td>31,261冊</td> <td>13,034冊</td> <td>2,029冊</td> <td>1,284点</td> </tr> <tr> <td>東和図書館</td> <td>26,951冊</td> <td>15,707冊</td> <td>2,456冊</td> <td>410点</td> </tr> <tr> <td>橘図書館</td> <td>32,464冊</td> <td>15,403冊</td> <td>2,368冊</td> <td>378点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>128,139冊</td> <td>64,941冊</td> <td>10,275冊</td> <td>2,072点</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>延利用者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>6,481人</td> <td>17,561冊</td> </tr> <tr> <td>大島図書館</td> <td>6,975人</td> <td>21,268冊</td> </tr> <tr> <td>東和図書館</td> <td>4,547人</td> <td>11,187冊</td> </tr> <tr> <td>橘図書館</td> <td>6,566人</td> <td>16,252冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24,569人</td> <td>66,268冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>・毎月新刊案内を発行した。</p> <p>【課題】 ・全館合計の延利用者数は、前年度に比べ 15,093 人減少し、貸出冊数も 21,096 冊減少した。新型コロナウイルスの影響（4月1日から5月18日まで休館）があるものの、利用者、貸出冊数共に減少幅が大きいことから、市民のニーズを的確に把握し、図書選定を行うとともに、図書の紹介方法等を検討するなど、魅力ある図書館づくりに取り組むこと。</p>	図書館名	一般図書	児童図書	郷土資料	AV資料	久賀図書館	37,463冊	20,797冊	3,422冊	—	大島図書館	31,261冊	13,034冊	2,029冊	1,284点	東和図書館	26,951冊	15,707冊	2,456冊	410点	橘図書館	32,464冊	15,403冊	2,368冊	378点	計	128,139冊	64,941冊	10,275冊	2,072点	図書館名	延利用者数	貸出冊数	久賀図書館	6,481人	17,561冊	大島図書館	6,975人	21,268冊	東和図書館	4,547人	11,187冊	橘図書館	6,566人	16,252冊	計	24,569人	66,268冊
図書館名	一般図書	児童図書	郷土資料	AV資料																																													
久賀図書館	37,463冊	20,797冊	3,422冊	—																																													
大島図書館	31,261冊	13,034冊	2,029冊	1,284点																																													
東和図書館	26,951冊	15,707冊	2,456冊	410点																																													
橘図書館	32,464冊	15,403冊	2,368冊	378点																																													
計	128,139冊	64,941冊	10,275冊	2,072点																																													
図書館名	延利用者数	貸出冊数																																															
久賀図書館	6,481人	17,561冊																																															
大島図書館	6,975人	21,268冊																																															
東和図書館	4,547人	11,187冊																																															
橘図書館	6,566人	16,252冊																																															
計	24,569人	66,268冊																																															
<p>◆高齢者、児童、幼児を対象とした読み聞かせ会の実施</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】 ・読書習慣の形成を図るため、幼児、児童、高齢者等を対象にした話し会や読み聞かせ会等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>事業名</th> <th>実施回数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大島図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出前読み聞かせ</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東和図書館</td> <td>図書館まつり</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">橘図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>8回</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせ</td> <td>39回</td> <td>563人</td> </tr> <tr> <td>音訳ボランティア</td> <td>10回</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>図書館まつり</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】 ・読み聞かせで実績のある図書館ボランティアの効果的手法を、各図書館の事業展開に積極的に生かし、町全体で読書に親しむ環境づくりを推進していくこと。</p>	図書館名	事業名	実施回数	延参加者数	久賀図書館	おはなし会	中止	—	大島図書館	おはなし会	中止	—	出前読み聞かせ	中止	—	東和図書館	図書館まつり	中止	—	橘図書館	おはなし会	8回	68人	読み聞かせ	39回	563人	音訳ボランティア	10回	50人	図書館まつり	中止	—																
図書館名	事業名	実施回数	延参加者数																																														
久賀図書館	おはなし会	中止	—																																														
大島図書館	おはなし会	中止	—																																														
	出前読み聞かせ	中止	—																																														
東和図書館	図書館まつり	中止	—																																														
橘図書館	おはなし会	8回	68人																																														
	読み聞かせ	39回	563人																																														
	音訳ボランティア	10回	50人																																														
	図書館まつり	中止	—																																														

2 地域教育力活性化の推進

- 地域ぐるみで子どもの育ちを支援する「地域協育ネット」の推進
- 家庭の教育力を高める学習機会の充実・相談支援体制の整備
- 青少年の健全育成に関わる情報の提供、相談体制の整備
- 社会教育団体の育成支援

<p>◆学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業の推進</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内全小中学校 14 校を拠点とした、学校支援地域本部事業（地域学校協働活動事業）を実施し、地域の人材・施設・環境を最大限に活用し、学校と地域が協働しながら、子どもにとって魅力のある教育活動を推進した。 <p>さらに、町内の中学校区を単位とした地域協育ネット協議会（小中合同学校運営協議会）で、学校関係者、地域関係者を構成員とした協議やユニット型研修を通して、学校と地域のつながりを深めるとともに、学校教育活動への理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームによる活動では、9つの小学校、7会場の就学時健康診断や一日入学で子育て講座を開催し、家庭の教育力を高める学習機会を提供した。また、親子参加型行事である「ミモザの会」をコロナ禍ではあるが4回開催し、異世代の交流を図りながら家庭教育支援を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の町内全域の取組については、情報交換する機会があまりないため、活動を精選したり充実したりしていくためにも、情報を共有できる場をつくっていくこと。 ・家庭教育支援チームの取組が、町内全域に広がっていないため、家庭教育支援チームの更なる周知をどのように進めていくか、チーム員をどのように増やしていくか、関係他課や団体とどのように連携していくか考えていくこと。 									
<p>◆放課後子ども教室推進事業の拡充</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖浦っ子クラブ（沖浦小学校1・2年生児童対象）、なぎさクラブ（油田小学校・城山小学校・森野小学校・島中小学校・浮島小学校・安下庄小学校児童対象）の各クラブで、子どもたちの安心・安全な居場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して、地域の方と子どもたちとのふれあいが深まるとともに、児童の主体性を高めたり豊かな人間性を育んだりすることにつながった。 <table border="1" data-bbox="496 1778 1393 1908"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なぎさクラブ</td> <td>5回</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>沖浦っ子クラブ</td> <td>127回</td> <td>808人</td> </tr> </tbody> </table>	教室名	開催回数	延べ参加者数	なぎさクラブ	5回	67人	沖浦っ子クラブ	127回	808人
教室名	開催回数	延べ参加者数								
なぎさクラブ	5回	67人								
沖浦っ子クラブ	127回	808人								

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象ではない小学校区をどのようにしていくか、また、なぎさクラブの対象校区の拡大に伴い、増加した参加者の対応のために指導者をどのように確保していくかという点で課題があるため、その対応策を考えていくこと。
<p>◆青少年育成町民会議の活動の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成町民会議の活動を支援するために、補助金の交付、総会・役員会・情報交換会の開催、環境浄化活動・あいさつ運動推進活動等を実施し、活動の充実を図った。 ・周防大島町青少年育成町民会議の開催 (町全体の総会、久賀地区・大島地区・東和地区・橘地区の役員会を书面開催) ・こども環境クリーンアップ活動の実施 (久賀地区・大島地区の図書取扱店で有害図書類等区分陳列を確認した。) ・あいさつ運動標語募集・審査・啓発(入賞作品表彰、幟設置) ・文化祭(安下庄中学校)や図書館まつり(大島地区)の支援 ・どんど焼きの開催・支援(久賀地区・橘地区) ・花の苗、鉢等の配付(久賀地区・大島地区・東和地区) <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の広がりが限定的であるので、標語募集をきっかけとして、よりよいあいさつについて児童・生徒・学生に考えてもらうとともに、青少年育成に直接関わる大人が中心となって、それぞれの立場で青少年に積極的にあいさつの声かけをしていくことを、いろいろな場で伝え広めていくこと。
<p>◆子ども会等の活動の充実</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の活動を支援するために、補助金の交付、研修会の案内、情報交換会を開催した。 ・周防大島町子ども会育成連絡協議会の開催 (各地区で子ども会会長集會を開催) ・県子ども会連絡協議会総会・指導者研修会 ・奉仕活動、清掃活動等の開催 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会への積極的な参加を促すことで、子ども会の意義や指導者の役割等について理解を図ること。

<p>◆体験活動の実施</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島少年の船洋上セミナーの実施 <p>例年、大島商船高等専門学校練習船「大島丸」を利用し、「船内や見学地、江田島青少年交流の家で、仲間とともに様々な活動を通して、児童の主体性や豊かな人間性を育む」ことを目的として、町内の小学校6年生を対象とし、実施しているが今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため中止した。</p> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真夏における活動であることから健康管理について長年の課題となっている。ある程度のゆとりを確保するなど日程の見直しや健康管理担当者の確保など検討すること。 ・消費税改正や物価の変動などにより事業経費に変更が生じていることから負担金などの見直しを図ること。
<p>◆成人式の開催</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <p>日 時 令和3年1月4日（月） 中止</p> <p>場 所 東和総合センター</p> <p>対象者 145人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、開催日を令和3年5月2日（日）に変更や開催場所を周防大島町総合体育館に変更など行ったが、山口県内においても感染者が増加し、町内での陽性患者が確認されたため、新成人、ご家族、町民の皆さまの健康と安全を最優先に考え開催を中止した。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式の時間的制約の中において、ふるさとをテーマにした効果的で実りある企画を今後も検討すること。

3 人権教育の推進

- 「山口県人権推進指針」の周知と人権意識の高揚
- 指導者の養成による人権教育推進体制の充実
- 「周防大島町人権教育推進大会」の開催
- 各公民館における人権学習講座の開催

<p>◆人権教育推進委員会の開催</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人権教育の方針や啓発事業計画についての協議、人権啓発作品の審査等を実施し、人権教育推進についての共通理解や意見交換等を行った。 ・第1回人権教育推進委員会 書面開催 町人権教育重点施策、事業計画、作品募集等について ・第2回人権教育推進委員会 9/28 人権啓発作品審査、人権教育推進大会の運営 次年度の人権教育推進大会講演講師の選定について協議 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の人権学習講座について、委員の意見を充分に取り入れられていないので、講師選定や啓発活動内容についても、人権教育推進委員会の協議内容に取り上げ、人権教育推進の充実を図っていくこと。
<p>◆相談等の支援体制の整備・充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談については町福祉課と連携し、山口県人権対策室や山口県教育庁人権教育課の指導のもと、支援を行っている。また、相談窓口として、内容に応じて山口地方法務局・やまぐち総合教育支援センター等の関係機関を紹介し、町広報紙においては、人権相談開設日（毎月1回）を周知している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談については町福祉課の対応となるが、ほとんど相談がないというのが現状である。広報紙以外にどのような方法で住民に周知するかが課題である。
<p>◆人権教育推進大会の実施</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の人権意識の高揚を図るために、年1回各地区持ち回りで人権教育推進大会を実施しているが、今年度は全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け一堂に会しての開催を中止し、講演内容をネット配信とDVD配布により実施した。内容については、人権教育推進委員会で検討し町民の実態にあったものを実施した。また、参加者一人ひとりの人権意識の高揚を図った。 ・令和2年度人権教育推進大会 R3.1/28（橘総合センター 中止） 講演 「感染症と人権問題～過去の事例と新型コロナ感染症について学ぶ～」 講師 家入 裕子 様（山口県立大学看護栄養学部看護学科講師）

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、コロナ禍での開催であることから人数制限や事前申込とし、一般申込者と関係委員、学校、町職員を対象とした限定的な開催という形式にしていたが、今後も映像の配布を含め、コロナ禍でもより多くの方へ周知ができるようにすること。
<p>◆公民館学級・講座における学習会の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の人権学習講座を町内4地区で実施し、町民の人権意識の高揚を図った。 ・久賀地区人権学習講座（11/27 久賀総合センター） 参加者 11人 講演「その人権問題わたしならどうする～地域編～」 ・大島地区人権学習講座（12/15 大島文化センター） 参加者 57人 講演「その人権問題わたしならどうする～地域編～」 ・東和地区人権学習講座（11/18 東和総合センター） 参加者 6人 講演「その人権問題わたしならどうする～地域編～」 ・橘地区人権学習講座（12/16 たちばなケアプラザ） 参加者 22人 講演「最新の人権に関する動向について」 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者のニーズ（要求課題）や本町の必要課題に応じたテーマで講座を開催しているが、地区によって参加者数に差がある。今後は、地区を越えた参加者の呼びかけや、学校運営協議会・地域協育ネット関係者へも呼びかけていくこと。
<p>◆人権に関する児童生徒の応募入選作品の表彰・発表</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により夏季休業期間が短縮されたため、令和2年度については町内の小・中学校児童生徒、周防大島高等学校生徒、大島商船高等専門学校学生（1～3年）を対象に、人権啓発作品の募集を標語のみ行い14校から272点の応募があった。また、入賞作品の表彰や発表、展示等の人権尊重の精神を育むための啓発活動を行い、明るく幸せな町づくりを推進した。 ・人権啓発作品募集（夏季休業中） 標語（小学校5・6年生対象） 標語（中学生対象） 標語（高校生対象） <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文の部の応募者が少ないため、児童・生徒一人ひとりが人権について考えるきっかけをつくるために、募集の目的の積極的な周知を図っていくこと。

<p>◆人権教育研修会の実施</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、人権教育推進委員、社会教育委員、人権擁護委員、人権施策推進協議会委員、町小・中学校教職員、町職員の合同研修会を実施し、「山口県人権推進指針」の周知や人権教育に関わる様々な立場の方の資質向上を図っている。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため中止したが、人権推進大会で受講する予定であった内容をネット配信やDVDで配布し、研修を行った。 ・周防大島町人権教育研修会（中止） <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が限定的なので、人権推進指針の趣旨や分野別施策の理解を人権教育に携わる一人ひとりに深めていただけるように、定期的に研修会に参加していただいたり、職場等で復伝をしていただいたりする仕組みを作ること。
<p>◆人権教育推進委員研修会の開催と積極的な参加</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、人権教育推進委員の資質向上に向けて、町主催・県主催人権教育研修会への参加の呼びかけを行っているが今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため中止や不参加となった。 ・周防大島町人権教育研修会(中止) ・学校・地域人権教育推進指導者研修会（9/11 山口総合教育支援センター）県からの要請により派遣社会教育主事のみ参加 ・山口県人権教育研修会（中止） <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県主催研修会の参加者が少ないため、指導者育成のためにも地元で開催される講演会や研修会への参加を積極的に呼びかけていくこと。

4 スポーツの振興

- 生涯スポーツの普及や地域スポーツの充実
- 各種指導員の養成・確保及び研修会の充実
- スポーツ施設の機能向上と利用促進
- 学校体育施設開放の促進及び効果的な活用
- 総合型地域スポーツクラブの育成

<p>◆生涯スポーツの普及</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、身近な地域のスポーツ大会から町内全域、そして広く町外、県外を対象とした大会まで、また、内容も親睦を図るものから競技性の高いものまで幅広く実施しているが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため大半のスポーツ大会について中止した。 ・身近な地域におけるスポーツ大会 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">地区名</th> <th>大会名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久賀地区</td> <td>職域ソフトボール大会（2回）、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、シニア卓球大会他</td> </tr> <tr> <td>大島地区</td> <td>屋代湖駅伝、大島地区対抗球技大会、B & G オープンバレーボール大会、カヌー教室、プールで OP ヨット体験会、大島元気っ子水泳教室他</td> </tr> <tr> <td>東和地区</td> <td>グラウンドゴルフ大会、水泳教室（夏季のみ）、球技大会他</td> </tr> <tr> <td>橘地区</td> <td>春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール）、剣道大会他</td> </tr> </tbody> </table> <p>例年、地域の特色を生かし、住民のニーズに応じた内容で実施しているが、久賀地区のシニア卓球大会以外については、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内全域を対象としたスポーツ大会 <p>各地域のチームや選手が参加し、親睦又は交流を図るとともに技術の向上を図っているが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため大半のスポーツ大会について中止した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">大会名</th> <th style="width: 20%;">開催月日</th> <th style="width: 30%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郡壮年軟式野球大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡グラウンドゴルフ大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡卓球大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡バレーボール大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡ソフトボール大会</td> <td>8/8</td> <td>2チーム 33人</td> </tr> <tr> <td>郡スポーツ少年団交歓大会（バレーボール）</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡スポーツ少年団交歓大会（ソフトボール）</td> <td>8/1</td> <td>3チーム 48人</td> </tr> <tr> <td>郡陸上競技大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>近郷ソフトテニス大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡水泳大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>サザンセット大島オレンジカップ</td> <td>10/4</td> <td>5チーム 90人</td> </tr> <tr> <td>大島カップ大会（郡ゴルフ大会）</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡武道大会</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	大会名	久賀地区	職域ソフトボール大会（2回）、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、シニア卓球大会他	大島地区	屋代湖駅伝、大島地区対抗球技大会、B & G オープンバレーボール大会、カヌー教室、プールで OP ヨット体験会、大島元気っ子水泳教室他	東和地区	グラウンドゴルフ大会、水泳教室（夏季のみ）、球技大会他	橘地区	春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール）、剣道大会他	大会名	開催月日	参加者数	郡壮年軟式野球大会	中止	—	郡グラウンドゴルフ大会	中止	—	郡卓球大会	中止	—	郡バレーボール大会	中止	—	郡ソフトボール大会	8/8	2チーム 33人	郡スポーツ少年団交歓大会（バレーボール）	中止	—	郡スポーツ少年団交歓大会（ソフトボール）	8/1	3チーム 48人	郡陸上競技大会	中止	—	近郷ソフトテニス大会	中止	—	郡水泳大会	中止	—	サザンセット大島オレンジカップ	10/4	5チーム 90人	大島カップ大会（郡ゴルフ大会）	中止	—	郡武道大会	中止	—
地区名	大会名																																																				
久賀地区	職域ソフトボール大会（2回）、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、シニア卓球大会他																																																				
大島地区	屋代湖駅伝、大島地区対抗球技大会、B & G オープンバレーボール大会、カヌー教室、プールで OP ヨット体験会、大島元気っ子水泳教室他																																																				
東和地区	グラウンドゴルフ大会、水泳教室（夏季のみ）、球技大会他																																																				
橘地区	春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール）、剣道大会他																																																				
大会名	開催月日	参加者数																																																			
郡壮年軟式野球大会	中止	—																																																			
郡グラウンドゴルフ大会	中止	—																																																			
郡卓球大会	中止	—																																																			
郡バレーボール大会	中止	—																																																			
郡ソフトボール大会	8/8	2チーム 33人																																																			
郡スポーツ少年団交歓大会（バレーボール）	中止	—																																																			
郡スポーツ少年団交歓大会（ソフトボール）	8/1	3チーム 48人																																																			
郡陸上競技大会	中止	—																																																			
近郷ソフトテニス大会	中止	—																																																			
郡水泳大会	中止	—																																																			
サザンセット大島オレンジカップ	10/4	5チーム 90人																																																			
大島カップ大会（郡ゴルフ大会）	中止	—																																																			
郡武道大会	中止	—																																																			

- ・スポーツを通じて町内、県内外との交流を深める大会

例年、町内の参加者だけでなく県内外へ参加を呼びかけ、スポーツを通じて人的交流を促進し、人と人とのつながりを深めているが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため大半のスポーツ大会について中止した。

大会名	開催月日	参加者数
サザンレク片添ビーチバレー大会	中止	—
近県ソフトテニス大会	中止	—
大島一周駅伝競走大会	中止	—
サザンセト大島 周防大島町長杯 高校サッカーフェスティバル	中止	—
大島郡フットサル大会	2/28	11チーム 85人
サザンセト大島ロードレース大会	中止	—
サザンセト大島少年サッカー大会	中止	—

【課題】

- ・身近な地域におけるスポーツ大会

長年にわたり地域に支持され開催されてきたスポーツ大会は、スポーツの普及に大きな役割を果たしてきた。高齢化が進む中、地域の特性に応じた内容や大会運営の方法等を検討すること。

- ・町内全域を対象としたスポーツ大会

児童から高齢者を対象とした幅広い年齢層に対応したスポーツ大会を実施した。また、各種目の競技力向上についても貢献してきた。今後、競技内容や運営方法を検討し、より質の高い大会をめざすとともに参加者が主体的、自主的に運営に関われるよう検討すること。

- ・スポーツを通じて町内、県内外との交流を深める大会

本町に定着した大会となっているが、一部の大会において、参加者が減少傾向にある。また、運営役員の確保が困難な状況も生じている。それぞれの内容や運営方法を検討し、なお一層のスポーツを通じた県内外の交流人口の増加に努めること。

- ・だれでも、いつでも、どこでもできる生涯スポーツの普及

あらゆるスポーツを通じて生涯スポーツの普及については、一定の成果を収めている。さらに、より多くの町民の親睦、健康と生きがいづくりを支援するため、年齢・性別等を問わず誰でも手軽に楽しめる生涯スポーツの普及を図ること。

<p>◆スポーツ団体及び総合型地域スポーツクラブの育成支援</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種目別スポーツ団体 競技種目ごとのスポーツ団体（クラブ）は、社会教育施設や学校施設を利用し、定期的に活動している。また、大会を独自に企画・運営している団体もある。 ・総合型地域スポーツクラブ 1クラブが活動中であり、多種多様なスポーツ活動をしている。現在もう1クラブ設立の動きがあり、県と連携して設立準備を進めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの新たな設立を目指して、先進的なスポーツ団体（クラブ）の活動の紹介や、スポーツに関する情報を提供する等育成スポーツ団体（クラブ）の活動支援と併せて、活動のキーマンとなる人材の発掘・育成・確保が課題である。
<p>◆スポーツ推進委員の養成と研修機会の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員は、各地域のスポーツ少年団やシニア層のスポーツサークル等の実技指導を行うとともに、スポーツクラブの育成と活動を支援や、スポーツイベントの補助など、支えるスポーツの観点からの活動をしている。 ・スポーツ推進委員連絡協議会を組織し、情報交換や研修会の実施、県主催の指導者研修会等に参加し、資質の向上を図っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の役割であるスポーツの実技指導等の他、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整が追加され、推進委員の役割が多様化している。 ・スポーツ推進委員の研修機会の充実を図り、資質向上に努めるとともに、推進委員の世代交代がスムーズに行われるよう、地域の有能な人材を発掘養成をすること。
<p>◆特色を生かした社会体育施設の積極的な活用</p> <p>【総合評価】 新型コロナウイルスの影響により評価できない</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、海洋レクリエーション活動を軸に、自然体験活動等を行う B&G 海洋センターは、カヌー・ヨット教室、大島元気っ子水泳教室等を実施し、青少年の健全育成や町民の健康づくりを支援しているが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため中止した。 ・総合体育館や陸上競技場は、平成 25 年度から指定管理制度を導入しており、指定管理者による自主運営事業の実施や、本町におけるスポーツの拠点施設として、町内全域を対象としたスポーツ大会や、町外との交流を深めるスポーツイベント等に利用されており、交流人口の拡大に貢献するとともに、町民に利用しやすい生涯スポーツの場の環境づくりに努めた。

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各体育施設の設備充実とともに、より多くの町民が生涯にわたってスポーツに親しめるようさらに環境の整備が必要である。
<p>◆学校体育施設等の開放促進と積極的な活用</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの学校が、放課後や夜間・休日に学校体育館や運動場等を開放して、スポーツ少年団の練習場所や地域住民のスポーツ・レクリエーションの場となっており、生涯スポーツの振興や地域住民の交流が図られている。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設の地域への開放は、地域のスポーツ環境の整備に欠かせない手法である。今後も、備品や設備等を計画的に整備・充実させ、生涯スポーツ活動の場として、有効活用を図ること。

総務

【総務課】

1 中学校の再編に向けた対応

(1) 中学校統合準備委員会

当会は、関係3中学校の先生方、PTA関係者、学校運営協議会会長、関係小学校長、地域連携教育エリアアドバイザー、周防大島高等学校の方々で構成し、詳細事項については、総務部会、教育課程部会及び生徒指導部会の3つの部会において検討を行い決定した。

(2) 統合中学校の開校に向けた対応

年 度	準備対応内容	総合評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校統合準備委員会（総務部会、教育課程部会及び生徒指導部会の3部会において協議調整） 学校の名称、校章、校歌に関すること PTAや学校運営協議会の組織運営に関すること 学校経営方針や教育課程に関すること 通学体制に関すること 制服や持ち物等に関すること 久賀中学校・東和中学校・安下庄中学校閉校式 	計画どおり

(3) 統合中学校校舎新增築・改修事業

令和3年4月の統合中学校の開校に向け、令和元年度繰越事業である美術室棟が完成した。また、職員室の拡張及び旧美術室を普通教室に変更する既存校舎等改修工事、屋内運動場床面等改修工事等を実施し、中学校統合のための全ての工事を完了した。

事業名	事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
1	【繰越事業】 統合中学校美術室棟新增築工事	美術室棟及び渡り廊下の新增築を行った。	37,032,200円 (令和元年度支出済みの前払金を除く)	計画どおり (令和2年7月完成)
2	統合中学校既存校舎等改修工事	職員室の拡張、特別支援教室の増室及び旧美術室を普通教室に変更する校舎の改修等を行った。	44,207,900円	計画どおり (令和2年12月完成)
3	統合中学校屋内運動場床面等改修工事	屋内運動場の床面改修及びバスケットゴールを増設した。	4,858,603円	計画どおり (令和2年8月完成)

2 油田小学校と森野小学校の統合に向けた対応

油田小学校は少子化の影響により極小規模の状態が続いており、今後も児童の増加が見込めないため、令和元年度に保護者から森野小学校への統合について強い要望があり、準備を始め、令和3年3月末をもって油田小学校を閉校した。

年 度	準備対応内容	総合評価
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・森野小学校スクールバス利用児童保護者へ油田小学校との統合に係るスクールバス運行計画のお知らせ文書を配布（新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う説明会中止のため） ・油田小学校保護者へ森野小学校との統合に係るスクールバス運行計画説明会を開催 ・油田小学校閉校式 	概ね計画どおり

3 学校施設等の整備・拡充

安心・安全な学校づくりや快適な学校施設を提供し、学校内における環境整備の向上を図るため、令和2年度に実施した主な事業

事業名	事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
1 浮島小学校空調設置工事	機械室内の空調圧縮機からの油・ガス漏れにより圧縮機を交換した。	空調圧縮機の交換工事を行った。	2,750,000円	概ね計画どおり (令和2年8月完成)
2 安下庄小学校空調設置工事	管理棟系統熱交換器の故障により、既存ダクト方式の全館空調は取りやめ、校舎管理棟5室に個別空調を設置した。	1階職員室、事務室、校長室、保健室及び3階外国語教室に個別空調を設置した。	12,925,000円	計画どおり (令和2年7月完成)
3 三蒲小学校トイレ洋式化改修工事	一般家庭の洋式トイレ普及に伴い、学校内における環境整備の向上を図るため和式トイレの一部を洋式化した。	和式トイレ5箇所(男子2、女子3)を洋式トイレに改修した。	1,298,000円	計画どおり (令和2年8月完成)
4 森野小学校トイレ洋式化改修工事		和式トイレ5箇所(男子2、女子3)を洋式トイレに改修した。	1,276,000円	計画どおり (令和2年8月完成)
5 島中小学校トイレ洋式化改修工事		和式トイレ1箇所(男子1)を洋式トイレに改修した。	299,000円	計画どおり (令和2年8月完成)

6	浮島小学校トイレ洋式化改修工事		和式トイレ4箇所(男子2、女子2)を洋式トイレに改修した。	1,023,000円	計画どおり(令和2年8月完成)
7	安下庄小学校トイレ洋式化改修工事		和式トイレ5箇所(男子2、女子3)を洋式トイレに改修した。	1,298,000円	計画どおり(令和2年8月完成)

4 周防大島町語学留学生派遣事業

山口大学国際総合学部、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジと連携し、町内在住の高校生及び高専生を対象にハワイ州カウアイ島への語学留学の募集を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑み、受入先と協議し事業中止を決定した。

事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
周防大島町と姉妹島提携を結び交流を深めているカウアイ島のハワイ大学カウアイコミュニティカレッジを拠点に、包括的連携協力協定を締結する山口大学の支援を受けた短期留学を行い、語学力の向上はもとより、体験型学習等を通じ、異文化を理解し行動できる次世代の人材育成を図ることを目的とする。	町内在住の高校生及び高専生を対象に、令和2年8月3日から8月16日の日程で語学留学の募集を令和2年4月1日から開始したが、4月16日に事業中止を決定した。	0円	新型コロナウイルスの影響により評価できない

5 新型コロナウイルスへの対応

非常時に電源供給が可能な車輛2台購入、沖浦小学校トイレ改修及び空調設備設置、トイレ洋式化5校、町内14小中学校へコロナ関連対応品購入費用として1校100万円を補助、各給食センターの空調設備の増設及びウイルス除去のためのオゾン発生装置を設置した。

事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
避難所開設時の非常用電源の確保を図るため、AC100Vコンセント付きハイブリッド車を2台整備した。	ハイブリッド車1.8L 1台、1.5L 1台購入	5,035,270円	計画どおり(令和3年1月納入)
避難所となる沖浦小学校の和式トイレの一部を洋式に改修し、ランチルームに空調を整備することにより、感染拡大防止と安心・安全な環境整備を図った。	職員トイレ、児童和式トイレ5箇所(男子1、女子4)を洋式トイレに改修し、ランチルームに空調を設置した。	10,165,100円	計画どおり(令和3年3月完成)

町内 5 小中学校の和式トイレの一部を洋式に改修することにより、感染拡大防止と安心・安全な環境整備を図った。	三蒲、森野、浮島、安下庄小学校、大島中学校の和式トイレの一部を洋式トイレに改修した。	5,899,960 円	計画どおり (令和 2 年 11 月完成)
町内 14 小中学校の再開に伴う感染症対策及び学習保障等を行い、感染症リスクの抑制を図るため、1 校当たり 100 万円を補助した。	町内小学校 10 校、中学校 4 校に 1 校当たり 100 万円を補助し、それぞれがコロナ関連対応品を購入した。	13,789,789 円	計画どおり
給食調理の安全性の確保及び調理員体調管理のため、町内 4 学校給食センターの空調設備を増設し、安全な給食調理環境の整備を図った。	町内 4 給食センターに空調増設及び工場扇を整備した。	22,506,880 円	計画どおり (令和 3 年 3 月完成)
町内 4 学校給食センターにウイルス除去のためのオゾン発生装置を設置し、感染拡大防止と安全な給食調理場環境の整備を図った。	町内 4 給食センターにウイルス除去のためのオゾン発生装置を設置した。	2,714,800 円	計画どおり (令和 2 年 10 月納入)